



岩槻幼稚園・2025年度5月号

<2025年度5月の聖句>

野の花がどのように育つのか、注意してみなさい。

マタイによる福音書 6:28

～ 心にとめて ～

5月になりました。バタバタとはじまった新年度の生活もゴールデンウィークでほっとひと息。ご家族で楽しいひとときを過ごされたでしょうか。それともお仕事や家事などに追われておうちの方々は羽を休める暇もなかったかもしれません。おともだちのみんなもおうちの皆さんもおつかれさまでした。

長いおやすみが明けると、もう一度幼稚園でがんばるお気持ちを整えるのがむずかしいことがあります。それはおともだちと同じですね。

ましてや小さなおともだちのみんなは一生懸命幼稚園モードに切り替えようとして。でもそれがなかなかうまくいなくて。なみだがこぼれてしまったり、おこりんぼになってしまったり、おとうさんおかあさんと離れるのがこわくなってしまったりなどなど。うまくことばにできない、バラバラなお気持ちをかかえてのリスタートかもしれません。

でもだいじょうぶです。岩槻幼稚園のせんせいたちはそんなお気持ちをまるごと受け止めてくれます。まだ一ヶ月ですが、わたしもこの幼稚園で過ごしているなかで気がついたことがあります。それは、せんせいたちはおこころを励ますよりもまず、受けとめることをたいせつにしているということです。

自分の気持ちをわかってもらえないのに、励まされてもくるしいだけですものね。一人ひとりのぐるぐるしたおこころをそのまま受けとめて、いっしょにがんばろうと手をつなぐ。そんな心地よい空気がいつもあるので、園長としても安心です。

(ちなみにわたしは“園長”という肩書きがこそばゆいので、“よしひろせんせい”と呼んでもらっています (^_^))

あせらずのんびりと。また「幼稚園楽しい!」という生活に、すこしずつもどってくれたらいいなと思います。

岩槻教会牧師・岩槻幼稚園園長 清水 義尋

<今月のねがい> ー 動き出して / なんだろう ー

- ・保育者や友だちとともに祈り、賛美し、見えない神さまを感じる
- ・好きな遊びを見つける。友だちの遊びを見て心と体が動き出しやってみようとする
- ・自分の好きなことやまわりのもの・ことに心をとめて、感じて考え動いていく
- ・風の気持ちよさ、草や花の香り、虫の感触などを感じたりする

